

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

将来を見据えた財政運営と子どもたちへの安全教育

財政運営の危惧

問区は、歳入が確実に確保できる範囲内で、将来に大きな負担を残すことなく施策を展開していくべきと考えますが、区の見解を伺う。

答社会経済状況や国・都の動向を見極め、特別区税や特別区交付金といった一般財源の見直しを把握するとともに、国庫支出金や都支出金などの特定財源の確保に努めていく。加えて、将来負担の軽減のため引き続き起債の抑制に努め、基金の積み増しを進めるとともに、経営改革の取り組みを推進していく。

地球温暖化対策

問23区が連携して脱炭素に取り組みゼロカーボンシティ特別区の実現に向け、区長がリードし、COP28出席してから1年がたつが、その後の成果と今後の意気込みを伺う。

答COP28への参加後、環境への取り組みに熱心なステークホルダーからの視察が増え、その交流から新たな連携が生まれている。さらに、23区が連携してごみの減量に取り組むことを特別区長会に提案し、実現に向けて調整している。今後も、ゼロカーボンシティ特別区の実現に向けて23区を積極的にリードしていく。

新小岩地区周辺の未来像と都市計画

問新小岩の発展には、新金線旅客化の実現が大きく寄与すると考えるが、現在の進捗と今後の展望を伺う。

答国道6号との交差方法や金町駅への接続方法などさまざまな課題があることから、複数の整備方法について検討している。今後は、関係機関とも協議を重ね、さまざまな整備方法について施設計画の実現性や事業性

などの比較を行うとともに、具体的な旅客化事業の方向性を定め、新小岩をはじめとする地域のさらなる発展に向け、早期実現を目指していく。

区内中学校の安全教育

問本区の中学校において、心肺蘇生をはじめとする救命教育はどのように行われているのか伺う。



中学生の普通救命講習

答教科書や映像資料教材を基に理論を学ぶほか、包帯等を用いた応急手当や訓練人形等を用いた心肺蘇生の実習を行っている。

※他の質問項目 講習や実習を行っている区内中学校の数 など

今後の放課後支援

問児童保育・わくわくチャレンジ広場等を一体的に区が申し込みを受け付けて需給調整を行うシステムを構築することで、子どもや保護者の希望を把握し、最適なサービスの提案や、既存資源の有効活用と待機児童数の減少を図ることが可能になると考えるが、教育委員会の見解を伺う。

答両事業の申請時期を合わせ適切に選択できるようにすることや、一体的に受け付ける仕組みを検討していく。

※他の質問項目 夏休み期間の児童の居場所としての学校施設活用 など

DXの推進

問本区の申請手続オンライン化の取り組み状況を示されたい。また、今後どのように取り組んでいくのか、区の見解を伺う。

答職員の手で取り組めるノーコードツールを活用し、手続のオンライン化を積極的に推進してきたことで、広報かつしかでお知らせしている講座やイベントの申し込みなど、ほとんどがオンラインで行える。一方、厳密な本人確認を必要とする手続など、オンライン化できないものがある。

※他の質問項目 災害発生時のシステム活用 など

清掃事業の今後の課題

問エッセンシャルワーカーである清掃業やリサイクル事業者に対して、家賃補助や免許取得費の助成、働き手の確保に向けた衛生的で快適な環境整備への支援が必要と考えるが、区の見解を伺う。

答清掃・リサイクル事業者が貨物自動車運送事業者であれば、大型等免許取得費は補助対象としている。現在、清掃事業者などの働き手は男性が多く、女性や外国人が少ない状況のため、今後女性が作業後に洗身できる設備や、外国人の方の労働に関する相談窓口設置など、働きやすい環境の整備に向けた支援を検討していく。

葛飾区議会公明党

問子どもから高齢者まで区民に寄り添った事業展開を

答葛飾区議会公明党は、子どもから高齢者まで区民に寄り添った事業展開を

いじめの早期発見・解決につなげ、

児童・生徒が安心して学校生活を送っていくために、いじめ対策アプリを導入すべきと考える。教育委員会の見解を示されたい。

答いじめを早期発見・解決するためには、児童・生徒および保護者がためらわず安心して相談できることが大変重要と考える。現在の相談体制における状況を分析するとともに、先行導入している自治体の実施状況等を調査・把握し、アプリ導入について検討していく。



葛飾区の児童・生徒に配付されているいじめ防止リーフレット

※他の質問項目 リーフレッツの継続的な活用 など

問児童保育の待機児童の解消と朝の子どもを見守る制度

答現在、他自治体の事例などについて情報収集を行い、関係課と共有し事業スキームなどについて検討している。できる限り速やかに一定の方向性を取りまとめ、議会へ報告する。

※他の質問項目 かつしかプラスのさらなる充実 など

う、教育委員会が主導してガイドラインを作成していただきたい。教育委員会の見解を伺う。

答補助金額や対象について一定の基準を示しつつ、学校側の裁量で教材の選定を行えるようにして、各学校の教育方針や特色を損なうことのないよう準備を進めていく。

※他の質問項目 申請手続の検討状況 など

区民の健康増進

問帯状疱疹ワクチンの定期接種化について国で助成が開始された際に、都の助成金と合わせて全額補助、もしくはこれまで以上の補助を行っていくべきと考える。区の見解を伺う。

答定期接種化については、引き続き、対象年齢などについて国の動向を注視していく。また、費用助成については、都の動向を注視するとともに、高齢者インフルエンザワクチンなど他のワクチンの費用助成も鑑みながら検討を進めていく。

※他の質問項目 BNP検査の追加実施 など

問地域公共交通の充実

答技術的かつ具体的な検討を進めるため、葛飾区地域公共交通会議に分科会を設置し、バスやタクシーといった区内交通事業者などに委員として参加を求め、運行主体としての視点から現実的かつ専門的な意見や提案を受ける形で協力してもらい、運行計画の検討を行っていく。

※他の質問項目 地域との協働 など

かつしか区民連合

浸水対応型市街地構想の実現と災害時の自主防災力の強化

問浸水対応型市街地構想のまちづくり構想実現へのビジョンと、まちづくりと連動する計画方針について伺う。

答区民・民間事業者・区が連携し、協働によって浸水対応型市街地の実現を目指す。公共施設の更新や再開発事業などの機会を捉え、街の動きに合わせた取り組みを進める。

※他の質問項目 よつぎ小学校跡地の活用 など

問災害時の自主防災力の強化

答学校の要望等を聞きながら、避難者の多様性を想定したカリキュラムやステップアップ方策を検討していく。

※他の質問項目 災害ボランティア活動への助成の検討 など

問地域主体交通の本格走行を目指しているが、受けている地域要望とそれに対する予算について伺う。



東立石・東四つ木地区を走るグリーンスローモビリティ

※他の質問項目 自動運転化の実現

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

キッズチャレンジ未来と葛飾区との関係性

問 協定の再締結の予定を示されているが、所管委員会において、経過や状況の把握・検証、それを踏まえた改善のめどが立つまで実施すべきではないと考えるが、区の考えを伺う。

答 現行の協定は令和7年3月31日が期限となっているが、区として、どのように対応することが適切か改めて整理をしたいと考えている。

※他の質問項目 クラブハウスの独占使用権の見直し など

金町駅周辺のまちづくりと学力向上について

金町駅周辺のまちづくり

問 安心・安全な駅前広場周辺の環境を確保すべく、人流データ等の活用を含め、関係機関や地域との意見交換を行い対策を講じるべきではないか。

答 人流データ等を収集・分析しながら、地域の方々や交通事業者と意見交換を行い、必要な対策を検討したい。

学力向上と進学支援

問 本区の中学生の全国学力調査の平均正答率は、令和に入って以降、国語数学共に一度も全国平均を超えていない。現状の課題を分析し改善策を講じる必要があるが見解を伺う。

答 タブレット端末を一層活用し表現や記述の基礎となる知識・技能の定着を推進する。指導主事が学校に関わり調査結果を分析・検証をしていく。

日本共産党葛飾区議会議員団

物価高騰から、区民の暮らし福祉最優先の区政へ

暮らしのこころ

問 紙の保険証は継続させるよう国に求めるべきと思うがどうか。

答 この制度改正は全国一律で行われることから、紙の保険証を継続させるよう国に求めることは考えていない。

問 マイナ保険証の登録解除は、登録者に対して個別に周知徹底すべき。

答 今後も広報かつしかなどで周知していくため、登録者個人に対し、登録解除を案内することは考えていない。

※他の質問項目 物価高騰対策 など

障害者とその親に対する支援体制

問 障害福祉サービス事業者を直撃する報酬改悪で、収益悪化や離職等による撤退を防ぐ施策を講じているのか。

答 民間通所施設負担軽減経費助成など、運営支援を行っている。引き続き、これらの取り組みにより事務所の経営の安定や人材の離職防止に努める。

問 大分県では障害のあるお子さんを持つ親が、親なきあとに支援者を知っておいてほしいことをまとめておく「エンディングノート」を独自に作成し、配付している。本区でも取り入れることで、スムーズな支援につながると思うがどうか。



大分県の親なきあと相談のリーフレットとエンディングノート

答 障害のあるお子さんの親なきあとのことは切実な問題であり、障害のあるお子さんが残された後のことをエンディングノートに託す取り組みは、親なきあとの親の不安の解消に役立つものと考えており、実情を把握し、本区での実施に向けて検討していく。

※他の質問項目 親なきあとに特化した相談窓口の設置 など

区内公共交通

問 「レインボーかつしか」有72・73・74・70の対象地域にアンケートを実施し西亀有地域についての検討が示

されているが、白鳥エリア、新宿エリアについても、具体的な検討が必要と思うがどうか。

答 現在、具体的な運行計画の検討を行っており、両エリアで求められる交通手段として適否も検証していく。

問 持続可能な公共交通のために、バス事業者への財政支援を抜本的に強めるべきと思うがどうか。

答 引き続き事業者への支援策を多角的に検討し、公共交通の持続性の確保に向けて取り組んでいく。

※他の質問項目 子ども料金の引き下げ など

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)

子どもの権利が尊重される葛飾へ

子どもの権利に関連する取り組み

問 葛飾区子どもの権利条例が制定されて一年となり、条例についてのリーフレットが作られ、子どもの権利擁護のための相談の仕組みもできたが、相談はわずか8件と聞いている。子どもの権利に関する周知が不十分であり、子どもが意見を表明しやすくなるよう改善する必要がある。この1年の取り組みとそれに対する評価、今後の取り組みについて見解を伺う。

答 啓発用リーフレットの配付や区内図書館等で子どもの権利に関する書籍の特集などの実施、相談専用電話や意見用紙などを用意している。相談件数が少ない要因を分析する必要があるが、その一つに制度の周知や相談手段の不足が考えられる。そこで、区公式ホームページ内に子ども向けの情報等を集約したページの構築準備を進め、相談や意見表明のフォームを設け、さらに意見を出しやすい環境を整える。また、教育・保育施設で絵本や学習用動画等を活用し、子どもの権利について理解を深め、意識を持てるよう周知・啓発を進める。

※他の質問項目 子ども権利委員会への教育委員会の参加 など

他の質問項目 不登校支援

問 デフリンピック開催に向けた機運醸成の取り組み

答 デフリンピック開催に向けて、地域住民に周知することが欠かせないと思う。イベントの開催などを視野に機運を盛り上げていくことが重要だと考えるが、区の見解を伺う。



東京2025デフリンピックの大会エンブレム

問 アフリンピックはその古い歴史にもかかわらず認知度が低いことから、日本初のデフリンピック、東京開催というこの機を捉え区民に周知していくことは、聴覚障害者の理解と配慮を深め、聴覚障害者の社会参加を促進するために大切なことと考えている。このため、開催前のPRイベントの実施などにより機運の醸成を図るとともに、NPO法人葛飾区聴覚障害者協会等の協力を得て、聴覚障害のことが一般に理解されるよう内容や周知を工夫していく。

※他の質問項目 聴覚障害者との協議や準備内容 など

他の質問項目 全ての人が円滑に移動できる新総合庁舎、「こち亀記念館」の開館に向けた取り組み、資源循環による環境負荷の低減促進

無所属 (※1)

子どもの居場所づくりと安心して過ごせる環境整備を

子どもの居場所

問 子どもが多様な居場所を選択できるようにするため、居場所づくりと合わせ、区が積極的に周知などの広報や利用者への啓発を進めていくべきと考えるが、いかがか。



学童保育クラブで放課後を過ごす子どもたち

答 今後も多様なニーズに応えられるように、子ども・若者の声を聴きながら居場所づくりを推進するとともに、居場所となり得る公共施設や子育て支援団体の活動に加え、今後実施を考えているニーズ調査等で得られた情報について、さまざまな媒体を用いて発信するなど、周知・啓発についても進めていく。

※他の質問項目 支援方針 など

教育について

問 中央区では、卒業や成長に伴って着られなくなった区立学校・幼稚園の標準服などを回収し、クリーニングや補修を行った上で、必要とする子どもに保護者に実費相当額で譲渡する中央区標準服等リユース事業を実施している。本区でも同様に導入を検討すべきと考えるが、いかがか。

答 中央区の標準服等リユース事業は、リユース実績のあるNPO法人に委託して実施しているものと聞き及んでいる。本区での実施は、今後研究していきたいと考えている。

※他の質問項目 生成AI活用 など

無所属 (※2)

他の質問項目 防災について

安心・安全なトイレ環境と利便性の高いまちづくりを

問 誰もが安心・快適にトイレを利用できる環境づくり

問 学校におけるバリアフリートイレの設置、男女共用トイレの解消、洋式化に今後どう取り組むのか伺う。

答 バリアフリートイレはトイレ改修に合わせ進める。男女共用トイレの解消は各学校の利用状況を踏まえ、順次進めていく。洋式化は修繕を計画的に推進し、早期に実現する。

高砂地域のまちづくり

問 高砂地域のかわまちづくりについて、どのようなかえを進められていくのか、また、まちづくりとどのように整合を図っていくのか認識を伺う。

答 地域住民の憩いやにぎわいの場となるよう整備していく。まちづくりとは相互に連携状況を共有しながら、相乗効果を図り、葛飾ならではの「かわ」を生かしたまちづくりを推進していく。



中川かわまちづくりイベント(高砂地区)

※他の質問項目 公園トイレの防犯対策 など

他の質問項目 子育て支援策への対応、区政の情報発信、医療助成の在り方